

「執筆・投稿の手びき 2005 年改訂版」からの主な変更, 注意点

1. 構成

第 1 章：論文を書くにあたっての心構えや注意点について

第 2 章：論文投稿から掲載までの流れを解説（電子投稿の手順に沿って）

第 3 章：「心理学研究」の投稿原稿の具体的な作成方法について

第 4 章：“*Japanese Psychological Research*” の投稿原稿の具体的な作成方法について

- ・ 投稿原稿の作成については、第 3 章「心理学研究」と第 4 章 “*Japanese Psychological Research*” に分けて説明

2. 電子投稿

- ・ 電子投稿システムからの投稿について説明

3. 「心理学研究」

- ・ 論文種類，定義文，規定ページを，2011 年変更にし替える
- ・ 日本語の引用符は原則「」を用いる
- ・ 見出しは 3 種類のみ，すべてゴシック，ボールド体とする
- ・ 本文への引用，引用文献での，多人数著者の表記例追加
- ・ 引用文献
 - i) 日本語文献の英文表記付加は不要とする
 - ii) 早期公開文献，doi の表記例追加

4. “*Japanese Psychological Research*”

- ・ 原則として APA の形式に準拠する（以下を参照のこと）。
American Psychological Association. (2010). *Publication manual of the American Psychological Association* (6th ed.). Washington, D. C.: American Psychological Association.
(アメリカ心理学会 (APA) 前田樹海・江藤裕之・田中建彦 (訳) (2011) APA 論文作成マニュアル第 2 版 医学書院)
- ・ 論文種類，定義文，規定ページを，2011 年変更にし替える
- ・ 「表題ページ」の脚注は，APA とは異なり，内容により脚注番号の位置指定あり
- ・ 見出しは 3 種類のみ，すべてゴシック，ボールド体とし，イタリック体にしない
- ・ 引用文献：Early View（早期公開）文献，doi の表記例追加

5. 倫理チェックリスト

- ・ 2015 年 5 月現在のリストにし替える